

① 年間テーマ『アルゼンチンアリの防除について』

1 経緯

平成 30 年 10 月 30 日（火）に室積地区で開催した「第 10 回 市議会報告会&意見交換会」において、地域住民からアルゼンチンアリの被害について深刻な声を多数いただいた。

この声を受けて、12 月議会で各委員が質疑を行ったが、地域住民のご苦労を軽減するために委員会として取り組めないかと協議を重ね、現状の把握、アルゼンチンアリの習性を知り、専門家を呼んでの学習会、根絶を成功させた自治体があれば行政視察等を行い、地域の切実な声に応えるべく委員会で取り組む年間テーマの 1 つとして『アルゼンチンアリの防除』を設定した。

2 調査の経過

	開催日	内 容
1	平成 30 年 12 月 14 日(金)	『アルゼンチンアリの防除』を年間テーマ設定
2	平成 31 年 3 月 5 日(火)	予算委員会において各委員が質疑
3	平成 31 年 4 月 12 日(金)	今後の取組みについて協議 ・勉強会、現地・先進地視察等の取組みについて
4	平成 31 年 4 月 22 日(月)	勉強会を開催 ・「アルゼンチンアリ及びセアカゴケグモに関する調査」として環境政策課から生態や生息状況及びこれまでの取組みについて説明を受け、質疑を行う。
5	令和元年 5 月 10 日(金)	今後の取組みについて協議 ・「室積アルゼンチンアリモニタリング調査結果」の受け取りはプライバシーに配慮して不可。 ・現地(室積)視察は地元の意向で実施できず。
6	令和元年 6 月 13 日(木)	今後の取組みについて協議 ・専門家を招いての勉強会(光市議会アドバイザー制度の活用)、岩国市へ先進地視察を検討
7	令和元年 6 月 24 日(月)	委員会の所管事務調査において各委員が質疑 今後の取組みについて協議 ・専門家を招いての勉強会、岩国市への先進地視察は、日程調整等できず。
8	令和元年 7 月 5 日(金)	今後の取組みについて協議 ・環境政策課職員が参加した「廿日市市主催の特定外来種(アルゼンチンアリ)の勉強会について」、「光市のアルゼンチンアリ対策事業の実施結果について」勉強会を行うことを決定。
9	令和元年 7 月 16 日(火)	勉強会を開催 ・「アルゼンチンアリの防除に関する勉強会」として環境政策課から「廿日市市主催の特定外来種(アルゼンチン

		アリ)の勉強会」「光市のアルゼンチンアリ対策事業の実施結果について」説明を受け、委員間協議を行う。
10	令和元年 8 月 7 日(水)	今後の取組みについて協議 ・「アルゼンチンアリの防除に関する勉強会」の意見の取りまとめ
11	令和元年 8 月 22 日(木)	今後の取組みについて協議 ・委員会としての意見の取りまとめを行う。
12	令和元年 9 月 10 日(火)	今後の取組みについて協議 ・9月委員会で委員会として行う質問を取りまとめる。
13	令和元年 9 月 24 日(火)	委員会の所管事務調査において委員会総意の質疑を行う。
14	令和元年 11 月 12 日(火)	「第 11 回 市議会報告会&意見交換会」室積会場にてアルゼンチンアリの防除について報告を行い、意見交換を行う。

3 取組みの結果

勉強会を開催し認識を深めるとともに、議会、市、地元が一体となって取り組めるよう議論を重ねた。

平成 24 年度から市が薬剤の一部を支給し地元とともに防除に取り組んでいたが、平成 29 年度を持って市の事業予算が廃止されたことから、地元では室積連合自治会からの助成を受けて防除を継続し、平成 30 年度は年 2 回実施した。令和元年度はさらに一般財団法人山口県環境保全事業団の助成も受け、年 3 回の防除を実施した。

日常的に市民と行政が協力しての課題解決を目指すよう委員会で取り組んだ結果、地元で設立された「アルゼンチンアリ撲滅大作戦協議会」と環境政策課とで「光市協働事業提案制度（市民提案型）」の採択を受け、令和 2 年度は 20 万円の防除予算を確保したことから、室積連合自治会の助成と合わせ、年 3 回の防除を行うこととなった。

② 年間テーマ『子育て支援について』

1 経緯

前環境福祉経済委員会でも年間テーマとして取り組んでいた『子育て支援』については、「おっぴい都市宣言」のまちとして、子育て支援に力を入れる光市の大きな特徴でもあり、内容も多岐にわたることから引き続き大きなテーマとして年間テーマに設定し、調査研究を続けることとした。

2 調査の経過

	開催日	内 容
1	平成 30 年 12 月 14 日(金)	『子育て支援』を年間テーマ設定
2	平成 31 年 4 月 12 日(金)	今後の取組みについて協議 ・勉強会、現地・先進地視察等の取組みについて
3	平成 31 年 5 月 21 日(火) ～5 月 23 日(木)	委員会先進地視察 ・山形県村山市「子育て支援アプリ すくすく村山」について ・埼玉県幸手市「子ども・子育て支援事業」について ※視察報告書は、光市議会ホームページに公開。
4	令和元年 8 月 22 日(木)	今後の取組みについて協議 ・様々な意見が出る中で「光市子ども相談センターきゅっと」の職員と意見交換を行い、子育ての現状と課題について調査を行うことに決定。
5	令和元年 10 月 7 日(月)	「光市子ども相談センターきゅっと」現地視察 ※視察報告書は光市議会ホームページに公開。
6	令和元年 10 月 28 日(月)	議決事件「第 2 期光市子ども・子育て支援事業計画」について議員間協議を実施
7	令和元年 11 月 7 日(木)	「第 2 期光市子ども・子育て支援事業計画（素案）」に関する調査・研究
8	令和元年 11 月 12 日(火)	全員報告会にて委員会では出された意見を報告
9	令和元年 11 月 15 日(水)	委員会先進地視察 ・岡山県総社市「子育て王国まちづくり事業」について ※視察報告書は光市議会ホームページに公開。
10	令和元年 12 月 23 日(月)	令和元年第 4 回光市議会定例会にて「第 2 期光市子ども・子育て支援事業計画」を議決

3 まとめ

子育て支援については、多岐にわたることから、引き続き市民の声を聞きながら全国的な流れも注視して調査研究をしていきたい。

③ 新型コロナウイルス感染症に対する委員会の取組みについて

1 経緯

令和元年12月に端を発した新型コロナウイルスによる感染症の拡大が全世界に広がり、令和2年3月11日には世界保健機関がパンデミックを宣言した。

日本国内においては、学校の一斉休業や大規模イベントの中止等の対策を講じてきたが、感染拡大に歯止めがかからず、4月16日には全国に「緊急事態宣言」が出された。

本市においても、感染拡大の対策を講じる中、山口県から不要不急の外出自粛要請、4月20日には関係事業者の休業要請も行われ、市民の健康不安、生活不安、経済不安は切実なものとなっており、早急な支援を求める声も大きくなってきていた。

そのような未曾有の難局に対し、光市としても様々な対策、支援を講じているが、環境福祉経済委員会として市民の声に応えるために何ができるのか？

新型コロナウイルス感染症に対する委員会対応について、協議を行うこととした。

2 取り組みの経過

	開催日	内 容
1	令和 2年 4月 20日(月)	新型コロナウイルス感染症支援策について協議を開始 ・国、市の現状の支援策等の現状把握から行うことに
2	令和 2年 4月 22日(水)	国、市の支援策等の資料を各委員に発送
3	令和 2年 4月 28日(火)	新型コロナウイルス感染症支援策について協議・集約 ・様々な意見が出る中、市内事業者の家賃やリース料など固定費を補助する事業継続支援については緊急要望することで合意。
4	令和 2年 4月 28日(火)	環境福祉経済委員会の総意として、西村議長に緊急要望の申し入れ
5	令和 2年 5月 1日(金)	西村議長から市川市長へ緊急要望書を提出
6	令和 2年 5月 13日(水)	支援策第2弾の協議・集約
7	令和 2年 5月 15日(金)	令和 2年第 2回臨時会開催 ・要望が反映された議案が執行部から提出され議決。
8	令和 2年 5月 15日(金)	支援策第2弾の協議・集約
9	令和 2年 5月 20日(水)	支援策第2弾を12項目に集約し、要望することで合意。 ①新型コロナウイルス感染症の相談体制の充実を ②市民に国、県、市の支援策、給付金の周知徹底を図り、申請手続き支援を ③国の持続化給付金の対象にならない売り上げ 50%未満減の事業者、2020年新規事業者への支援を ④新型コロナウイルス感染症の長期化により影響を受ける事業者への継続的な支援を ⑤休業者や解雇者への緊急雇用創出として、高就労作業等の人数枠の拡大と条件緩和など

		⑥市営住宅家賃、水道料金、下水道使用料、汲み取り料等の減免、免除を ⑦光総合病院で感染者が出た場合の環境整備のための医療機器の購入を（検査機器、人工呼吸器） ⑧児童虐待等の把握と支援（ストレスレスな生活への支援） ⑨生活福祉資金利用者に10万円の上乗せ（既に借りている人で、返納していなくても困窮している場合には借りられるように） ⑩生活保護制度の運用を緩和 ⑪子育て世帯への臨時特別給付金の対象になっていない高校生～大学生等をもつ世帯への支援を ⑫新型コロナウイルス感染症終息後を見越した経済活動支援策を
10	令和2年5月21日(木)	支援策案を西村議長に提出
11	令和2年5月27日(水)	議員全員報告会開催 ・新型コロナウイルス感染症支援策について、両常任委員会が取りまとめたものを報告。
12	令和2年5月29日(金)	西村議長が市川市長に申し入れ 議会記者会見開催 ・両常任委員会の取りまとめを報告。
13	令和2年6月25日(木)	令和2年第4回光市議会定例会 ・要望が反映された議案が執行部から提出され議決。

3 まとめ

市民の切実な声を基に、委員会として早期に協議・取りまとめを行い、市長に要望したことから、令和2年第2回光市議会臨時会、令和2年第4回光市議会定例会に委員会要望を反映した議案が執行部から提出され可決した。

委員会として議会の力を発揮していく取り組みの良い前例になった。